

令和7年度 事務事業評価シート（1）

〔 令和6年度事務事業 〕

一般会計					事務事業分類	A 一般事務事業	
事務事業名	自立生活訓練				事業番号	011-109	
担当部署名	健康福祉	局	障害福祉	部	障害施策推進	課	

I. 基本情報

事業の位置付け

1	堺市基本計画2025	施策との関連	有・無	戦略	2.人生100年時代の健康・福祉 ～Well-being～	施策	(5) 障害者が生きがいを持って心豊かに暮らせる社会の実現		
			有	取組の方向性	①相談支援体制の充実・強化				
		寄与するKPI	有・無	指標名	—				
			無	現状値	—		目標値	—	
	堺市SDGs未来都市計画	施策との関連	有・無	ゴール	ゴール(10)人や国の不平等をなくそう		ターゲット	10.2	
			有	取組	障害者児及びその家族に対する支援				
		寄与するKPI	有・無	指標名	—				
			無	現状値	—		目標値	—	
2	関連計画			第5次堺市障害者計画・第7期堺市障害福祉計画・第3期堺市障害児福祉計画					
3	事業開始年度			平成 16 年度		点検対象年度		令和 7 年度	
4	実施根拠			障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律（略称：障害者総合支援法）					

事業の概要

5	事業の実施主体	本庁、障害福祉サービス事業者		
6	事業の対象	本市の区域内に住所を有する義務教育終了後の15歳以上で、障害者手帳を所持する者等。（18歳以上の障害者手帳を所持する者等 約62,000人）	対象数	単位
			約62,000	人
7	事業の目的	地域で自立して生活をしていくことを希望する障害者（児）に適切な日常生活訓練の機会を提供することにより、障害者（児）の自立生活に必要な力及び自立意欲を高めるきっかけを作る。		
8	事業内容	・これまで家族からほとんど離れたことがない障害者（児）が、慣れた支援者が傍に付いた状態で家族と離れて外泊し、宿泊体験を通じて成功体験を積みながら、将来の自立生活につながるきっかけとする。 ・事業所の空き部屋などを利用する。 ・登録事業者を募集し、利用者から体験希望があれば、委託契約（単価契約）を行う。		
	※国・府の基準より上回って実施した内容			
9	主な支出先	障害福祉サービス事業者		
10	公民連携・協働事業			

II. 事業目的の達成状況

事業の成果や活動実績の測定

11	成果指標	単位		実績		目標	目標 点検対象年度
				令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和7年度
	訓練人数	人	目標値	7	7	7	7
			実績値	7	5		
			達成率	100%	71%		
	当該指標を選定した理由	本事業は、将来の自立生活につながる第一歩（きっかけ）であり、訓練人数が事業の効果であるため。					
	目標値の設定根拠・算出方法	訓練実施人数					
12	活動指標	単位		実績		目標	
				令和5年度	令和6年度	令和7年度	
	訓練利用者の満足度	%	目標値	80	80	80	
			実績値	80	100		
			達成率	100%	125%		
	当該指標を選定した理由	次回の体験等への意欲につながっているか等、本事業の効果を計れるものであるため。					
	目標値の設定根拠・算出方法	訓練利用終了時の利用者アンケート					

令和7年度 事務事業評価シート（2）

事務事業名	自立生活訓練	事業番号	011-109
-------	--------	------	---------

Ⅲ. 投入量

事業コスト

※当初予算には、前年度からの繰越分を含む。（単位：千円）

	項 目	令和4年度	令和5年度	令和6年度		令和7年度
		決算	決算	当初予算	決算	当初予算
13	事業費（a）	112	526	465	412	361
	財 国支出金	0	0	0	0	0
	源 府支出金	0	0	0	0	0
	内 市債	0	0	0	0	0
	記 その他（ ）	0	0	0	0	0
	受益者負担金(使用料、手数料等)	0	0	0	0	0
	一般財源	112	526	465	412	361
14	人件費（b）	820	2,430	2,430	2,430	2,520
15	年間経費（c）=(a)+(b)	932	2,956	2,895	2,842	2,881

事業費の内訳

（単位：千円）

	項 目	年度		事業費	うち 一般財源	項 目	年度		事業費	うち 一般財源
		R6	R7				R6	R7		
16	事業費内訳	自立生活訓練事業委託料	決算	412	412		決算			
			予算	361	361		予算			
			決算				決算			
			予算				予算			
			決算				決算			
			予算				予算			
			決算				決算			
			予算				予算			
			決算				決算			
			予算				予算			
			決算				決算			
			予算				予算			

Ⅳ. 事業の効率性

単位当たり経費

17	区 分		単位	令和5年度	令和6年度
	①	訓練人数	人	7	5
	②	上記①にかかる年間経費	千円	2,956	2,842
	③	単位当たり経費（②÷①×1,000円）	円/単位	422,286	568,400
	算出についての説明等				

Ⅴ. 評価

費用対効果に係る所見

18	活動指標である訓練利用者の満足度は高まったものの、訓練人数は減少した。これは、継続的に訓練を重ねていた訓練利用者2名がグループホームに移行したことに加え、新規訓練利用者がいなかったことが要因である。また、令和6年度の訓練利用者は将来の自立生活に向け訓練を積み重ねる必要性が高い方が多く、結果的に訓練人数1人あたりの経費が増加した。
----	---

KPI等への寄与（基本計画等のKPI・取組の方向性や事業の目的の達成にどのように寄与したか）

19	令和6年度訓練利用者のうち居所に変化のあるものはなかったが、家族と離れて外泊する体験と日常生活訓練を積み重ねることで将来の自立につながっている。地域で自立して生活することを希望する障害者の自立生活に必要な力や自立意欲を高めるきっかけとなり、堺市基本計画2025及びSDGs未来都市計画に掲げる取組の方向性に対して寄与している。
----	---